

令和5年度 普通科 玉島プロジェクト探究Ⅰ 教科横断探究（3授業時間1ユニット）

**令和5年度実施
「地球温暖化」
ワークシート**

日本史 & 古典 & 化学

地球温暖化 第1～2回「平均気温と歴史時代における気温との比較」**サイエンスミッション**

過去 2000 年間の平均気温と比べて、平安時代・江戸時代の気温は高いか低いか予想せよ！

[第1～2回前半] 平安時代あるいは江戸時代における気温が、過去 2000 年間の平均気温と比べて高いかどうかを予想しよう。

1. スライド作成における留意点

- ① 以下の内容を盛り込んだスライドを作成する。

タイトル

過去 2000 年間の平均気温と比べて、平安時代 or 江戸時代の気温が高いか低いか(予想)

予想に至った理由 3 つ(Classroom にアップロードした資料のどの部分から考察したか)

- ② 図や絵などについて、次頁の〈スライド構想メモ〉に描いたものを撮影し、その画像をスライドに添付しても OK ! スライドで作成しても OK ! Classroom にアップロードした資料をコピペしても OK !

- ③ 班で 1 枚作成すること。

2. 注意事項

・ Google 検索は使用禁止！

※正解・不正解を求めていませんし、その時代で年間の気温を測定しないと分かりませんが、実際はできないので本当の正解は分かりません。

・ Classroom にアップロードされた資料以外の資料は使用禁止！

・ 教科書や資料集等での調査は OK ! 根拠を補うための知識が必要ならば取り入れてもよい。

3. 作成したスライドの評価について

- ① 気温の高低を予想しているか。
- ② 配付資料を用いながら、予想に至った理由を 3 つスライド上に分かりやすく記しているか。
- ③ Google 検索等を利用せず、予想や理由、資料から読み解いたこと等を記しているか。

[第2回前半] 平安時代あるいは江戸時代の気温の高低を予測したものをプレゼンしよう！

1. 発表における留意点

- ・ 発表は 2 ペア 1 グループとし、1 ペア 3 分間で交互に行う。
- ・ 発表を聞く際、班の代表者は他班の発表を撮影する。撮影後、Classroom に提出する。
- ※ファイル名を「～班_発表者 1 氏名・発表者 2 氏名」として提出すること。

2. 発表における評価について

- ① 聴衆者に伝えることを意識した発表ができているか。
- ※ジェスチャー、ポスチャー(姿勢・態度)、ボイス、アイコンタクト(目線)
- ② 2～3 分間の中で発表できているか。

〈スライド作成構想メモ〉

<スライド作成構想メモ>

評価(プレゼン発表) B 基準と比較して相互評価し、その評価のポイントも記入し合おう。

相互評価(B以上はA, 以下はC)	評価者	本人(メタ認知)	共同探究者(隣席, 他者メタ認知)
B: 他者に対して根拠に基づき歴史時代の気温高低予想を発表ができた。			
評価のポイント【記述評価】			
【サイエンスマッシュ】は、(達成できた ・ 達成できなかつた)。			

まとめ 今回の実習を通して、気づいたことを整理して書き残そう。

--

(____) 班 1年 (____) 組 (____) 番 氏名 (_____)

地球温暖化 第2～3回「地球温暖化対策」

サイエンスミッション

地球温暖化対策として現在取り組まれている研究 or 手法を一つ選び、「ココがすごい！」と思ったことを3つPRせよ！

[第2回後半～3回前半] 地球温暖化対策として現在取り組まれている研究 or 手法を紹介した新聞記事を一つ選び、PRスライドを作成しよう！

1. スライド作成における留意点

- ① 以下の内容を盛り込んだスライドを作成する。

□タイトル

□地球温暖化対策として現在企業 or 団体等が取り組んでいる研究 or 行っている手法(啓発活動等)に関する概要

□「ココがすごい！」と思ったこと(3つ) □引用文献 or 引用元(題目・頁数 or URL)

- ② 新聞記事は「ヨミダス for スクール」で検索すること。Google検索は使用禁止！

- ③ 図や絵などについて、次頁の＜スライド構想メモ＞に描いたものを撮影し、その画像をスライドに添付してもOK！スライドで作成してもOK！

- ④ 班で1枚作成すること。

2. 作成したスライドの評価について

- ① 地球温暖化対策として現在行われている研究 or 手法を取り上げているか。

- ② 図などを用いながら、「ココがすごい！」と思ったことを3つ挙げているか。

[第3回後半] 上記研究 or 手法について、「ココがすごい！」を3つプレゼンしよう！

1. 発表における留意点

・発表は2ペア1グループとし、1ペア3分間で交互に行う。

・発表を聞く際、班の代表者は他班の発表を撮影する。撮影後、Classroomに提出する。

※ファイル名を「～班_発表者1氏名・発表者2氏名」として提出すること。

2. 発表における評価について

- ① 聴衆者に伝えることを意識した発表ができているか。

※ジェスチャー、ポスチャー(姿勢・態度)、ボイス、アイコンタクト(目線)

- ② 2～3分間の中で発表できているか。

<スライド作成構想メモ>

評価(プレゼン発表) B基準と比較して相互評価し、その評価のポイントも記入し合おう。

相互評価(B以上はA, 以下はC)	評価者	本人(メタ認知)	共同探究者(隣席, 他者メタ認知)
B : 他者に対して分かりやすく地球温暖化防止に関する研究 or 手法について3つPRができた。			
評価のポイント【記述評価】			
【サイエンスマッシュション】は、(達成できた ・ 達成できなかった)。			

まとめ 今回の実習を通して、気づいたことを整理して書き残そう。

--

(____)班 1年 (____)組 (____)番 氏名 (_____)